

令和6年度第8回理事会議事録

公益財団法人東京都農林水産振興財団

令和6年度第8回理事会 議事録

- 1 日時 令和7年3月27日（木）午後2時～午後4時10分
- 2 場所 東京都立川市富士見町3丁目8番1号
（公財）東京都農林水産振興財団立川庁舎 講堂
※ Web会議システムによる出席者は、自宅・職場等の各会場から出席
- 3 理事の現在数 8名
- 4 出席要件 5名
- 5 出席理事の数及び氏名 8名 寺崎 久明
諏訪 範夫 (※)
齋藤 孝
塚本 亨 (※)
秋山 純 (※)
宮林 茂幸 (※)
田代 純子 (※)
濱松 潮香
- 6 出席監事の数及び氏名 2名 大森 淳子 (※)
渡辺 由佳

※印は、Web会議システムによる出席
- 7 議長 理事長 寺崎 久明
- 8 議事録署名人 寺崎 久明
大森 淳子
渡辺 由佳
- 9 議事録の作成に係る職務を行った者 理事長 寺崎 久明
- 10 議題
議決事項 第1号議案 令和6年度収支予算の補正について
第2号議案 令和7年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて

報告事項 理事の職務執行状況の報告

11 会議の概要

(1) 開会

進行役を務める中屋管理課長が、理事会の開会を宣言した。

(2) 役員等の紹介

管理課長が、出席役員を紹介した。

(3) 定足数報告

議事に先立ち、管理課長が出席状況を述べ、定款第 44 条に定める定足数を満たしていることから、理事会が成立していることを報告した。

(4) 開会挨拶

開催にあたり、寺崎理事長が以下のとおり挨拶を述べた。

(寺崎理事長)

本日は、御多忙の中、理事会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日の理事会は、今年度の補正予算と来年度の事業計画、収支予算を中心にご審議いただく予定としております。役員の皆様には、どうぞ忌憚のないご意見、ご質問をいただければと存じます。

さて、最近の日本経済は、長く続いたデフレから脱却し、政策金利も上昇するなど回復基調にありますが、円安や海外景気の減速など依然として予断を許さない状況にあります。

また、農林水産業に目を向けると、海外における日本食人気の高まりやインバウンド需要の増加により、国産農産物の需要量が増えるなどプラスの効果も表れてきています。

しかしながら、依然として、少子高齢化の進行により担い手の確保は困難な状況にあり、また異常気象や自然災害の増加も大きな影響を及ぼしています。農林水産業の担い手の確保に向けたPR活動や猛暑にも耐えうる品種の導入や生産方法の導入など、対策が急務となっています。

これらの情勢を踏まえ、今理事会でお諮りする令和7年度の事業計画ですが、農業分野においては、チャレンジ農業支援事業において、農業者と都心部の飲食店などをつなぐ新たなプラットフォームを立ち上げ、新規販路の開拓をさらに推進することで、農家の収益向上につなげてまいります。また、農林水産業の魅力若年層に伝えるためのプロモーション動画を作成し、SNSを通じて配信する新たな取り組みも開始いたします。これにより、次世代の担い手確保に努めてまいります。

林業分野では、奥山での作業道の新設を進めるなど、新たに導入した高性能林業機械の稼働領域を拡げ、伐採量を増やすことで、スギ花粉発生源対策を推し進めてまいります。また、多摩産材の情報発信拠点である「TOKYO MOKUNAVI」の運営などを通じて「東京の木」多摩産材を積極的にPRし、認知度の向上と消費拡大にも引き続き取り組んでまいります。

試験研究部門では、夏期の高温障害対策や、低コスト・省力化に向けた技術開発に重点的に取り組むとともに、その成果は現場に還元してまいります。また、東京型スマート農業では、現地での技術の実装を見据え、関係機関と連携して研究開発に取り

組むとともに、次世代通信技術を活用した技術開発を引き続き進めていきます。

詳細につきましては、後ほど事務局より報告させていただきます。

最後になりますが、本日は報告事項として、

- ・事業部門からは、『給食レシピコンテストの開催』について
- ・試験研究部門からは、花粉の少ない森づくり推進の一環として研究しております『スギ生育不適地予測』について

それぞれ担当の課長から報告させていただきます。

当財団では、社会情勢の変化に迅速かつ弾力的に対応するため、東京都をはじめ、関係団体の皆さま方と連携し、東京の農林水産業の振興に向けて、着実な事業の推進と、それを実現するための体制づくりに取り組んでまいります。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

(5) 議長の選任及び議事録署名人の選出

定款第 43 条の規定に基づき、理事長が議長に就いた。

併せて議長より、定款第 48 条第 2 項の規定に基づき、議事録署名人を理事長、大森監事、渡辺監事とする旨を報告した。

(6) 決議事項

① 第 1 号議案 令和 6 年度収支予算の補正について

議長は事務局に対し、第 1 号議案について説明を求め、松岡事務局長が配布資料に基づき、説明を行った。

続いて、議長が理事に対し、質問及び意見を求めたところ、特に質疑等はなく、承認について挙手を求めたところ、全員より挙手があり、第 1 号議案は原案のとおり承認された。

② 第 2 号議案 令和 7 年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて

議長は事務局に対し、第 2 号議案について説明を求め、松岡事務局長が配布資料に基づき、説明を行った。

続いて、議長が理事に対し、質問及び意見を求めたところ、下記の質疑応答があった。

(諏訪理事)

第 2 号議案の収支予算書(案)について何点か確認をさせていただきたい。経常費用の事業費の内、①通信運搬費が約 40 百万円から約 20 百万円に減少している点、②減価償却費が約 2 百万円から約 9 百万円に増加している点、③返還金が約 11 百万円から約 411 百万円に増加している点、管理費の内、④通信運搬費が約 5 百万円から約 19 百万円に増加している点、⑤減価償却費が約 8 百万円から約 38 百万円に増加している点、⑥消耗品費が約 24 百万円から約 73 百万円に増加している点など、前年度の予算と比べて極めて大きい箇所の理由をお伺いしたい。

(松岡事務局長)

1 点目の通信運搬費の減額ですが、会計士の助言により枝木運搬費用、チップング費用を

委託費に移管したことで約 20 百万円分を減額しました。2 点目の減価償却費の増額ですが、ホイールローダー等のリース及びビニールハウス、林業機械の購入等に伴う増額となります。3 点目の返還金の増額は、林業先進技術導入事業、最先端林業技術導入事業の東京都への返還金が増額するためです。4 点目の管理費の通信運搬費の増加については、来年度に職員用スマートフォンを導入することにより、通信料が増額するためです。5 点目の減価償却費の増加については、モバイルパソコンリースの導入に伴う増額となります。6 点目の消耗品費の増加については、職員用スマートフォンの購入による増加となります。

(秋山理事)

収支予算書については、きちんと積み上げているので全体の金額は間違いのないと思いますが、諏訪理事より指摘のあった収支予算の大きな増減の差異については詳しく知りたいところ。回答としてコメントのついた資料等を後ほど送付してもらいたい。

(寺崎理事長)

承知いたしました。それでは、速やかに事務局から各理事の皆様へご回答をさせていただくこととし、第 2 号議案の採決については、この場でお諮りさせていただくことによろしいでしょうか。(異議なし)

それでは、第 2 号議案につきまして決議をお諮りさせていただきます。第 2 号議案令和 7 年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込について、ご異議のない方は挙手をお願いできればと存じます。

(全理事が挙手)

それでは、第 2 号議案については、原案とおりとさせていただきます。

(7) 報告事項 理事の職務執行状況の報告

議長は事務局に対し、報告事項について説明を求め、事務局長が配布資料に基づき、説明を行った。

続いて、議長が理事に対し、質問及び意見を求めたところ、特に質問等はなく、以上をもって報告事項は了承された。

(8) 閉会

閉会前に、今年度に入ってから財団の取組事例として、武田地産地消推進課長より「令和 6 年度東京産農産物の学校給食活用促進事業(東京産食材レシピコンテスト)」について、中村緑化森林科長より「アセビの分布に基づく「スギ生育不適地予測図」」について、それぞれ配布資料に基づき説明した。

最後に、全体を通じた質問及び意見を求めたところ下記の質疑応答があった。

(宮林理事)

最近、山火事の災害が増えており、気温も異常な温度になり、自然条件が大きく変化してきている。そのような環境の中では、昨年度は野菜類も根腐りを起こしたり、樹木へも影響が少なからず出ている。そのため今後は、そうした情報を収集し、農家や林家あるいは漁家の生産者さんや、都民一般の消費者さんあるいは財団などの専門機関と情報を共有するようなシステムを構築し、例えば、環境異変情報管理セン

ターのようなものを設置して、環境リスクマネジメントとしての情報を集中する組織を総合的につくっていく必要があるとっていて、提案したいと思います。

(中屋管理課長)

財団においても、山での業務等、自然環境の中で行う仕事も多くありますので、宮林理事よりご提案いただきました内容を踏まえながら、どういったシステムを導入したら良いのかを、今後財団としても検討していきながら、現場においても活かせるような組織づくりに向けて、努力して参りたいと存じます。ご提案ありがとうございます。

さらに質問及び意見を求めたところ、特に質疑等はなく、管理課長が理事会の閉会を宣言した。

以上、相違ないので、記名、捺印する。

令和7年3月28日

議 長 寺 崎 久 明

議事録署名人 大 森 淳 子

議事録署名人 渡 辺 由 佳